

ISO9001 次期改訂の状況 FDIS が発行されました

★ISO9001 次期改訂版の最終国際規格案（FDIS）が発行されたそうですね？

－はい、7月9日付けでISOの中央事務局からFDISが公開されました。原文、及び対訳版は日本規格協会から購入することができます。

★FDISは発行後どのように扱われることになるのですか？

－FDISは発行後2ヶ月間、つまり9月9日まで全てのISO加盟各国に送られて、P（参加）メンバーによる投票にかけられることになります。

★投票の結果で修正意見が出た場合は、再び変えられて国際規格が発行されることになるのですか？

－いえ、投票は賛否投票だけで、文字の修正などの編集上の意見は別として、内容の修正意見は受け付けられません。従って、FDISの内容を修正して国際規格が発行されることはありません。

★FDISの投票結果の採決はどのようなルールで行われるのですか？

－Pメンバーの投票数の2/3以上の賛成があり、かつ、反対が投票総数の1/4以下であれば、FDISは承認されたことになります。

★投票後の処理はどうなりますか？

－FDISを承認するという投票結果になると、編集上のコメントの取り込み処理を行った後、発行段階に進めます。FDISを否認する投票結果になると、再度FDISを検討のためにISO中央事務局からTC176に差し戻しの処置となります。

★DISからの変更は大きいですか？

－序文の構成が変わっていたり、附属書A.3の内容が変わったりしていますし、規格の本文も修正された箇所は少なくありません。また、用語の定義はやはり7月9日に発行されたISO9000のFDISに移されました。

でも、規格の趣旨を変えるような変更は余り見当たらないように思います。ただし、変化が大きいか小さいかについては、人によってのDISの理解の仕方にも左右されますので、一概に言うことは危険だと考えます。是非、日本規格協会からFDISを入手されてご自分で確かめられる様にして下さい。

★国際規格の発行はいつになりますか？

－投票期間終了後 2 週間以内に、ISO 中央事務局は投票の結果を各国に回付しなければならないことになっています。これまでの経緯からおそらく否決にはなることは想定されないので、9 月下旬に国際規格が発行されることになるのではないかと思います。翻訳 JIS は 11 月頃に発行されるのではないかと思います。

★JIS が発行されるまでは英文の国際規格に頼らざるを得ないのですか？

－おそらく、FDIS が承認されてほとんどそのまま国際規格が発行になると考えられますし、国際規格のコピーのような QMS 文書を作成して運用することは今度の改訂版では奨められないこととなりますので、11 月に予想される翻訳 JIS の発行までは、日本規格協会から発行されている FDIS の対訳版にある仮訳を使ってそれぞれの準備を進めて行くことで改訂国際規格の対応ができるようになると思います。

★ISO14001 の FDIS も発行されていますね？

－ISO14001 の FDIS も 7 月 2 日に発行されて、9 月 2 日までの投票に付されております。